

舞子・塩屋を訪ねる

神戸市垂水区舞子、塩屋地区には明治時代から富裕な階級の邸宅が建てられました。今も海を見下ろす高台に瀟洒な洋館や趣のある和館が散在して残っています。今回はこの地域をゆっくりとまわります。特に非公開の旧ジェームス邸も内部見学ができる予定です。中国風、洋風、和風とさまざまな意匠に出会える実りおおい一日になるでしょう。

日時 2011年1月22日(土)

集合 午前10時 JR舞子駅改札口

行程 移情閣 旧武藤山治邸 旧木下邸 舞子ビラ・昼食
旧ジェームス邸 旧グッゲンハイム邸

解散 JR塩屋駅 午後4時半ごろ

参加費 2,000円(入場料こみ・昼食代別途各自負担)

定員 30名(会員限定)

締切 1月16日(但し定員に達し次第締め切ります)

*昼食 舞子ビラのレストランにてランチをいただきます。
パスタランチ(1,800円・スープ、パスタ、パン、デザート、飲み物)
パスタはトマトあるいはミートのどちらかを、お申し込みの際にお知らせください。

* 移情閣(1918年築)

中国人実業家呉錦堂の別荘の楼閣として建てられた。後に兵庫県に寄贈され、孫文の記念館として一般公開されている。国重要文化財。

* 旧武藤山治邸(1907年築)

コロニアル様式の洋館。鐘紡の武藤山治が舞子海岸に建てたものを移築・復元し、公開を始めた。ステンドグラスや扉など細部にこだわった意匠と職人技も見もの。

* 旧木下邸(1941年築)

数寄屋造りを基調とし、応接室は洋風建築の特徴がよく現れ、戦前期の和洋折衷住宅の典型ともいえる。かなり損傷していたが、兵庫県の公園整備事業として修復され、公開されることとなった。国登録有形文化財。

* 旧グッゲンハイム邸(1912年築)

コロニアル風洋館。アーチのある柱列、ベイウィンドウなど魅力的な意匠がこらされている。当協会会員デュルト森本康代さん一家が購入。保存・公開している。国有形登録文化財。

* 旧ジェームス邸(1934年築・非公開) <望淡閣>

神戸を代表する大邸宅。スパニッシュ・ロマネスク様式。淡路島まで望む高台に、本館に続いて和館、茶室をそなえ、戦前の大邸宅の形式がほぼオリジナルの姿を残す貴重な存在である。



旧グッゲンハイム邸

特定非営利活動法人 アメニティ 2000 協会
事務局 芦屋市潮見町 5-8-3 清水
TEL・FAX0797-35-2181 携帯 080-3138-4164
Email soshisha@f6.dion.ne.jp
URL <http://homepage3.nifty.com/amenity2000/>